

新座市洪水・土砂災害ハザードマップ

Map of flood disaster areas and Landslide warning areas in Niiza city

新座市洪水灾害、泥石流灾害危険地図 ニイナシ・ポン・ゼイ・ボン・ゼイ・ジド

~自分の安全は自分で守る 自分たちのまちは自分たちで守る~

この地図は、荒川、柳瀬川、黒目川が氾濫し洪水が発生した際の浸水の状況と、土砂災害(特別)警戒区域(かけ崩れにより被害を受けるおそれがある場所)、風水害における避難場所の位置を示したものであります。

河川の氾濫については、想定最大規模の大河(おおむね1000年に1度程度の確率で発生すると考えられる大雨)が降った場合を想定したものです。

この地図で自家の周辺の災害リスクや、避難場所・避難経路を確認し、いざというときに適切な行動がとれるよう備えてください。

●作成したものとした洪水浸水想定区域図

・荒川系荒川洪水浸水想定区域図(作成主体:国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、荒川下流河川事務所 平成28年5月30日指定。荒川流域の72時間総雨量 632mm)

・荒川水系新河岸川流域洪水浸水想定区域図・水害リスク情報図(作成主体:埼玉県土整備部河川砂防課 令和2年5月26日指定。新河岸川流域の2日間総雨量 746mm)

(参考)アメダス所沢観測所では、令和元年東日本台風(台風第19号)接近時に72時間で362.5mmの降水量を記録しています。



このマップの利用方法

このマップを参考にして、以下の項目を確認してみましょう。

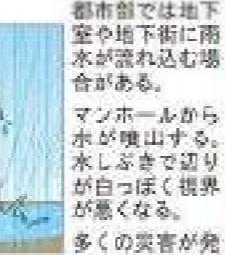
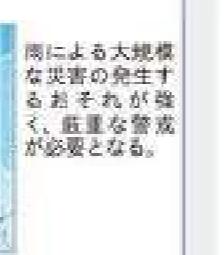
- 自宅やよく行く施設、場所、よく通るところの浸水やがけ崩れの可能性
- 避難する場所や避難経路
- 避難の目安となる情報とるべき行動
- 洪水・土砂災害時の避難方法

新座市では、9月の第1日曜日を「新座市家族防災会議の日」と定めています。各家庭で、防災への取組みについて話し合い、あわせて、地域の自主防災組織や、防災訓練・避難訓練への積極的な参加を検討してみてください。

1 避難の目安となる情報

雨の強さの目安

降雨状況を確認し、河川の増水などにより洪水が起きる可能性に注意しましょう。

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10~20mm未満	1時間に20~30mm未満	1時間に30~50mm未満	1時間に50~80mm未満	1時間に80mm以上
ザーザーと降る雨	どしゃ降りの雨	パケツをひっくり返した ように降る雨	海のように降る (ゴーゴーと音が鳴く)雨	息苦しくなるような 圧迫感がある、恐怖を感じる雨
				
この程度の雨でも長く続く時は注意が必要となる。	雨青や集水槽(グレーチング)、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが発生。	雨が峨びり流れが止まらない場合は、小規模ながけ崩れが発生。	都市部では地下鉄駅構内に雨水が溜まつ場合がある。マンホールから水が噴出する。水しぶきで通りが白くなる。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれがあり、危険が伴う。

避難情報の種類

雨により、河川が増水し、洪水が起きたり、がけ崩れが発生するおそれがあります。新座市は、埼玉県や気象庁が共同で発表する「氾濫警戒情報」や「土砂災害警戒情報」に基づき、時間帯や降雨状況等を総合的に判断した上で、避難情報(レベル3以上の行動を促す情報等)を発令することができます。

警戒レベル	行動警戒情報	状況	住民がとるべき行動
5 緊急安全確保	災害発生又は切迫	命の危険、直ちに安全確保	
4 避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	
3 高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	
2 大雨・共注注意	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	VACAN (バカン)
1 開始・終了区間	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心配を高める	

*市は、警戒レベル3以上を発令するごとに、当面の間隔を予定する避難所から順次、開設します。

*警戒レベル5は、伏流水を掘削された場合に発令するため、必ず発令されるとは限りません。

*警戒レベル3は、危険者以外の方も、必要に応じて普段の行動を組合わせたり、急降下を経由するタイミングです。

基準水位

避難に関する情報は、河川の水位の上昇を参考にして発令します。

河川	水位観測所	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
荒川	治水橋	7.00m	7.50m	12.20m	12.70m
柳瀬川	清柳橋	19.15m	19.65m	20.53m	20.87m
黒目川	浜崎	5.10m	5.80m	—	6.04m

上記基準水位は令和2年のものであります。今後変更されることがあります。

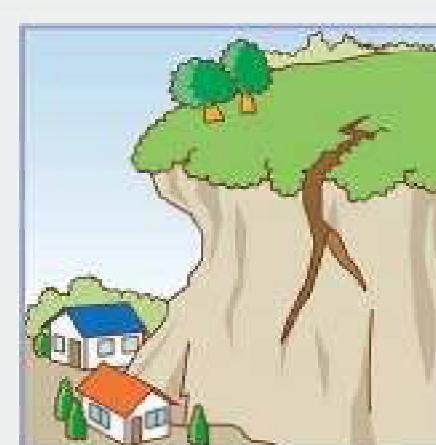
水防団待機水位:水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位

氾濫注意水位:水防団が活動して荒川の警戒にある水位

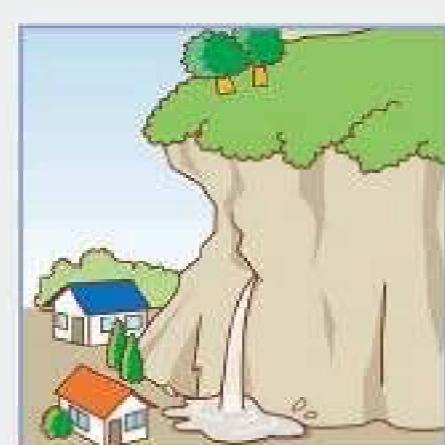
避難判断水位:レベル3(高齢者等避難)の発令の目安であり、避難に時間がかかる方が避難を開始する水位

氾濫危険水位:レベル4(避難指示)の発令の目安であり、河川が氾濫するおそれのある水位

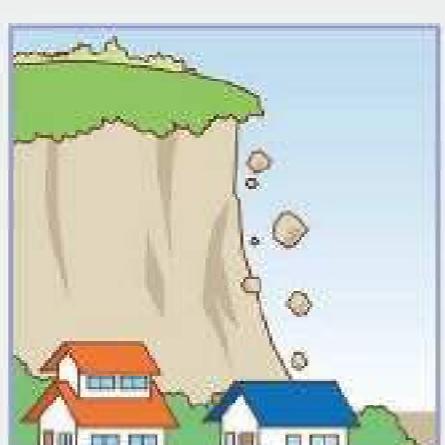
急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)の前兆現象



○斜面に亀裂ができる



○普通澄んでいる湧き水が湧ってきた、



○小石が無面からばらばらと落ち出す

○湧き水の急激な増加あるいは減少、枯渇が認められる

土砂災害について

○土砂災害の種類

土砂災害は、「急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)」、「土石流」、「地すべり」の3つに分けられ、何日か経つと長雨や大雨、突然の集中豪雨及び地震によって発生し、全国各地で被害が発生しています。

新座市で発生するおそれがある土砂災害は、急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)のみです。

○土砂災害防止法

土砂災害防止法(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律)は、土砂災害から国民の命を守るために、土砂災害のおそれがある区域を法律で指定し、危険の周知・警戒措置の整備をしていくものです。また、著しい土砂災害が発生すると予想される区域では、住宅等の新規立地の抑制、既往住宅の移転の促進などのソフト対策を推進しようとしているものです。

○土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある土砂災害防止法で指定された区域です。指定されると、地域防災計画に基づいて土砂災害に関する危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

○土砂災害警戒区域(レッドゾーン)
土砂災害警戒区域のうち、著しい危害が生じるおそれがあると土砂災害防止法で指定された区域です。指定されると、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等の措置が講じられます。

情報の入手先

各機関が発表する情報は、テレビ・ラジオのほか、インターネット上でも入手することができます。

これらのホームページなどから積極的に情報を収集しましょう。

■新座市公式LINE(二次元コード読み)

LINEアプリのインストール用
の友だち追加用


■急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)の前兆現象

各機関が発表する情報は、

テレビ・ラジオのほか、インターネッ

ト上で協力することができます。

これらのホームページなど

から積極的に情報を収集しま

しょう。

■埼玉県公式ページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/>

■埼玉県公認ページ(防災・防犯等)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/theme/enzen/index.html>

■気象庁公式ページ(防災情報)

気象警報・注意報、大雨・洪水警報の危険度分布、指定河川洪水予報、

土砂災害警戒情報、雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト)など

<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

■国土交通省川の防災情報(市町村概況・新座市)(河川の水位と雨量の状況)

https://www.river.go.jp/kawabou/html/map/gk/1101/1101230/ipGaikoMap_t1101230_fw0.html

避難情報の伝達系統

荒川・柳瀬川・黒目川の各河川

各河川の各河川

各河川の各河川